4

国鉄津田沼駅南口開発(サンペデック)

SOUTH DEVELOPMENT AT THE TSUDANUMA STATION OF J.N.R.

所在地 —————千葉県習志野市谷津 1-16-1

建築主 ——習志野市

津田沼開発株式会社

設計者 ―――フジタ工業株式会社

施工者 ――フジタ工業株式会社

竣工 ——昭和53年12月

Location — Narashino City

Owners — Narashino City

Tsudanuma Developer, Inc.

Design — Fujita Corporation

Contractor — Fujita Corporation

Date of Completion — December, 1978

概要

建築概要

敷地面積 16,750 m²

建築面積 14,129 m²

延床面積 93,632 m²

構造規模 鉄骨鉄筋コンクリート造、鉄筋コン

クリート造

地下2階, 地上11階, 塔屋1階

仕上げ概要

外装 屋根 高層部:アスファルト防水砂付き ルーフィング 低層部:アスファルト防水屋上 庭園/外壁 高層部:PC版吹付けタイル 低 層部:コンクリート打放し吹付けタイル/開口 部 高層部:ネオプレンガスケット 低層部: アルミサッシュ自然発色

内装 センターモール 床:テラタイル 壁: 大理石 天井:プラスターボードAEP/ホール客席 床:OIC 壁・天井:アスベストラッ クス単板貼り

設備概要

電気 受電:60KV 主変圧器:7,500KVA× 2 自家発電:1,750KVA 蓄電池:1,600A H 弱電:電話,放送,インターホン, TV共聴, 自動車管制,音響,調光

給排水・衛生 給水: 市水 受水容量: 150 m³ × 4 排水処理能力: 150 m³ / d (BOD 10 PP M)

空調 高層部:各階パッケージ 低層部・ホール:各階ハンドリングユニット 冷熱源:ターボ冷凍機 600 RT×5 パッケージ容量: 1,200 RT 温熱源:セクショナルボイラー3,85 t/m×4

昇降機 エレベーター: 乗用 10 基, 人荷用 6 基 エスカレーター: 32 基

消火 スプリンクラー,屋内消火栓,消防隊専用栓、泡消火、ハロンガス消火,屋外消火栓,防火用水槽,中央防災管理室

大高 正人 Masato Otaka 林 昌二 Shoji Hayashi 伴野 三千良 Michiyoshi Tomono

これまでBCS賞の対象になったものは、 ほとんどが個々のまとまった建物であった。 開発や建築群が賞を受けた例は、20回の間 に2件にすぎない。

第6回、1965年に受賞した「東京都立駒 沢オリンピック施設」は、建築群と施設の 環境が対象となった唯一の例であり、第13回、1972年に受賞した「フェニックス総合 レジャーセンター」は、運動公園の全体が 受賞したまれな例であった。20回の間には 266件の建築が賞を受けたわけであるが、 その中のわずかに2件が、開発であり建築 群であって、全体の1%にも満たない。

振り返ってみれば、BCS賞が創設された 1960年は、世界の奇跡ともいわれる日本経

The BCS Awards were instituted in 1960, at a time when the miraculous Japanese economic boom was beginning in earnest and when, in connection with this and with urban population concentration, people were frantically building without much attention to good order or the effects their actions had on the environment. The BCS prizes reflect this state of affairs accurately since, in the twenty years of their existence, only two awards have been granted to anything other than individual buildings: the Komazawa Olympics Sports Facilities, in 1965, and the

済の成長が始まったころで、それからは産業や人口の都市への集中、それに伴う施設の建設など、前後を顧みる暇もない、ただただだしい大建設の日が続いた。環境の調整などという余裕のない状況が、BCS賞にそのまま反映して、単体偏重の結果になったのではないかと思う。

しかし、ようやく国の法律や制度にも建築群の調整がテーマにのぼり、反省の機運も各方面に起こりつつある。

国鉄津田沼駅南口開発は、それらの反省を先取りしたものであって、国鉄駅前広場・道路公園などの公共施設・公共民間などの建築群――等々の調整は一応の水準に達しており、その先駆者としての業績が今

Phoenix Leisure Center, in 1972. Now, however, on both the governmental-official and the private levels, people are beginning to take the environment and efficient, orderly urban development into consideration; and the BCS prizes reflect this trend too by recognizing the development project — including department stores, markets, hotel, and official, and nonofficial facilities of many kinds — in front of the south entrance of Tsudanuma Station. A corporation including city authorities and the department stores, shops, and railways participating in the undertaking was formed to

回評価されたものである.

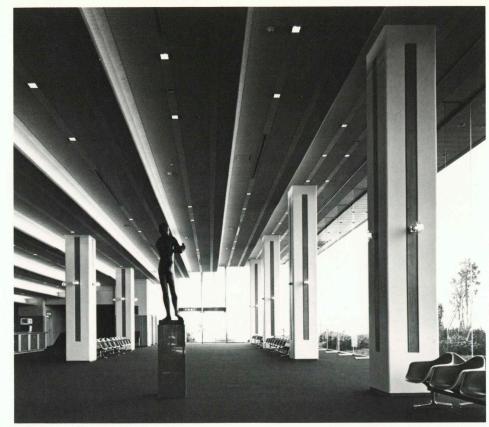
ダイエー・高島屋・多くの専門店・国鉄・習志野市の各セクション―など多くの関係者を調整した、習志野市および津田沼開発株式会社の業績は先例となりうるものであり、その調整に少なからぬ協力をした設計者の努力も、隠れているからこそ十分に評価しなければならない。建築としてみれば、はるかに優れた応募作品があったにもかかわらず、それらをさし置いて受賞した理由は、これらの大量の調整のエネルギーを評価したからであった。

また、ひとりの施主ではなく、多くの施 主が相手の仕事を無難にまとめた施工も、 隠れた苦心がしのばれるものであった。

cooperate on the project. This organization sets an example for similar bodies in the future.

Though the work of the designer is not conspicuous, his efforts and the important part he played in this cooperative project deserve all the greater praise for their unassuming nature. It was the energy and coordination required to see this undertaking to completion that recommended it over many outstanding, purely architectural works. Much labor and patience were needed to complete a project entailing this many different clients,





ホワイエ. Foyer.



ショッピング・ゾーン 1 階. Shopping zone on the first floor.



文化ホール. Culture hall.



文化ホール. Culture hall.

